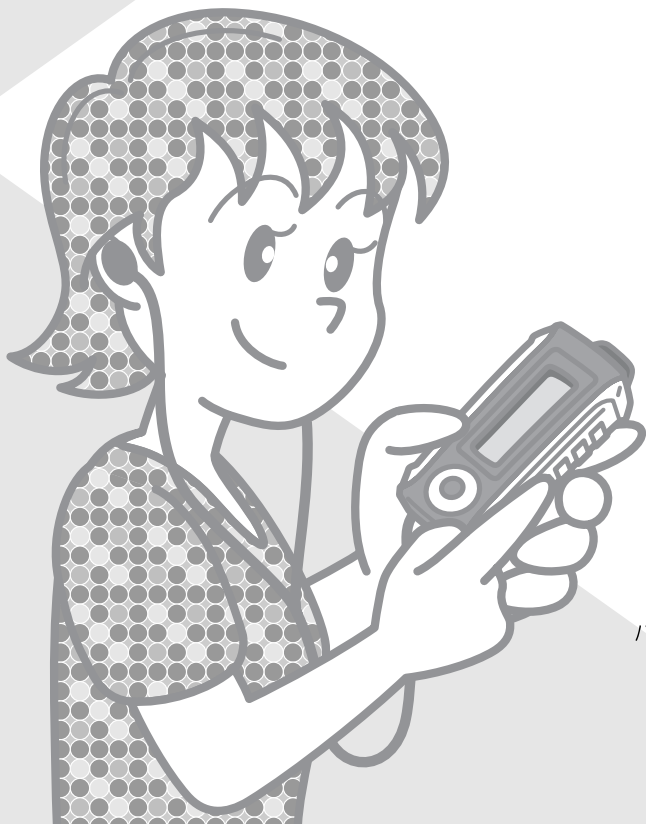
VoiceLab

ビーマスターではこんなことができます

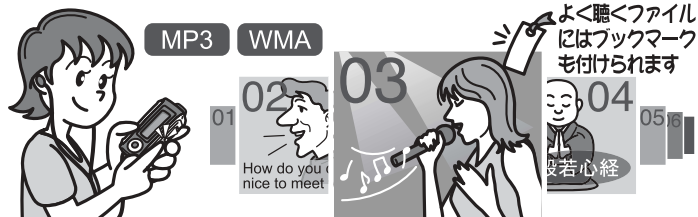
簡単検索！ イラストもくじ 次ページから➡

Be! Master

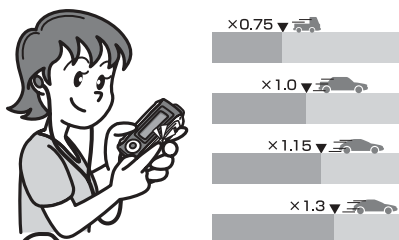
取扱説明書

このたびはビーマスターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、お客様にビーマスターを安全で正しくお使いいただくためのものです。
ビーマスターをお使いになる前に、必ず本書をよくお読みください。お読みになった後は、ビーマスターをお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管してください。

再生する

MP3、WMAファイルを聴くには…

ビーマスターでは、パソコンからダウンロードしたMP3／WMAファイル、オーディオ機器や内蔵マイクから録音したMP3ファイルを再生することができます。

21ページ 23ページ 「ファイルを再生する」「ブックマーク（しおり）を付ける」参照

再生速度を変えて聴くには…

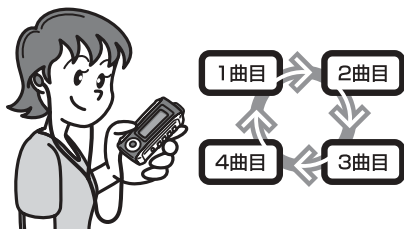
速度調整機能を使用して、再生速度を変えることができます。

26ページ 「再生速度を変える」参照

イントロ部分だけを再生するには…

ファイルの先頭部分だけを順に再生することができ、目的のファイルを探し出すのに便利です。

27ページ 「イントロ部分を再生する」参照

くり返し聴くには…

1ファイルやフォルダ内の全ファイル、またはファイル内の指定した区間をくり返し聴くことができます。

27 28ページ 「リピート再生する」「設定した区間をリピート再生する」参照

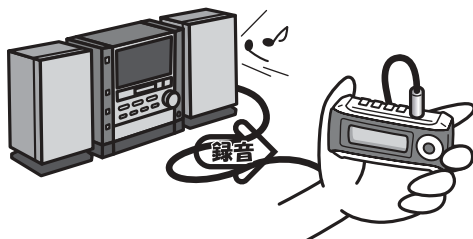
音質を変えるには…

ジャンルに合わせて音質を変えたり、3Dサウンドを指定して臨場感にあふれた音楽を楽しむことができます。

29ページ 「音質を選ぶ」「音に臨場感を与える」参照

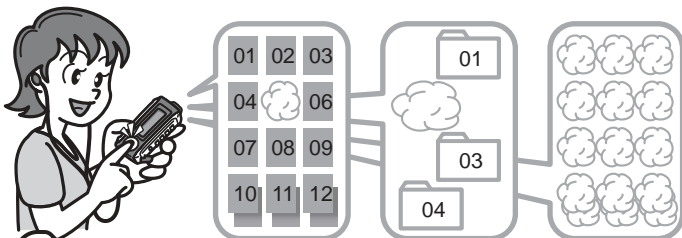
録音する

オーディオ機器の音源や音声などを録音するには…

オーディオケーブルでオーディオ機器と接続したり、内蔵マイクを使用して外部の音源をビーマスターへ録音することができます。

32ページ 「録音する」参照

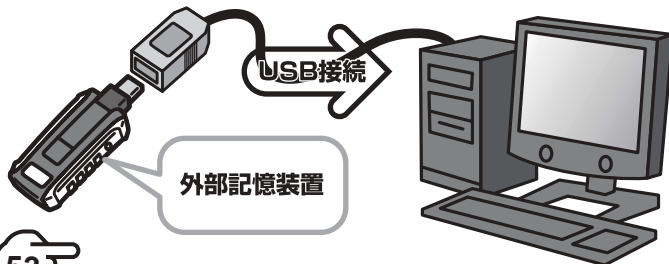
消去する

ファイルやフォルダを消去するには…

ビーマスター内のファイルを個別に消去したり、まとめてフォルダごと消去することができます。

39ページ 「消去する」参照

パソコンに接続する

外部記憶装置として使用するには…

簡単なUSB接続で、パソコンのデータをビーマスターにダウンロードすることができます。

53ページ 「本機をパソコンに接続する」参照

安全にお使いいただくために

本書に使用している記号について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示を使用しています。この表示の内容を無視して取扱を誤った場合生じる可能性のある内容を以下のように表記しています。

以下の内容をよく確認した上で、本文をお読みください。

 警 告　使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。

  使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定されることを示しています。

絵表示の意味

 記号は、注意すべき内容を示しています。

 記号は、してはいけない内容を示しています。

 記号は、しなければならない内容を示しています。

	本機器は一般オフィスや家庭の OA 機器、ないしホビー用途の製品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性および安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。
	万一、異常な臭いがしたり、発熱・発煙した場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、当社までご相談ください。火災、故障の危険があります。
	本機器を分解して内部の部品に触れないでください。感電の危険があります。また故障の原因にもなります。この場合は保証期間であっても保証範囲外となりますのでご注意ください。
	端子部を手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入しないでください。故障、感電の危険があります。
	使用電圧、使用温度、使用湿度は巻末の仕様一覧に記載されている定格範囲内でご使用ください。定格外の使用条件で使用された場合、火災、故障の原因になります。

	本機器を濡らさないでください。水などの液体がかかると、発熱、感電、故障の原因となります。
	内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因になります。
	雨、ちり、ほこりの多いところで使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	風呂場など水が直接かかる場所や高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	直射日光の強いところや、炎天下の車内等、高温な場所での使用、放置はしないでください。発熱、変形、故障の原因となります。
	発熱する器具の近くでの使用はさけてください。発熱、変形、故障の原因となります。
	静電気や磁界強度の強い場所でのご使用／保管はさけてください。故障の原因となります。
	曲げたり、強い衝撃を与えたり、落したり、投げつけたりしないでください。故障、破損、火災の原因となります。
	ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落下により故障やけがの原因となります。
	コネクタ部分には無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
	乳幼児の手の届かないところで使用／保管してください。けが、感電、故障の原因になります。
	電子機器の使用が制限されている場所での使用は控えてください。
	自動車、自転車などの運転中には操作しないでください。

ご使用にあたってのお願い

(1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。

(2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本機器を運用した結果の影響、または誤ったお取り扱いで生じた不具合、または第三者からの損害賠償の請求については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

(4) 機器の故障および修理によるメモリ内容の消失については当社では一切その責任を負いませんのでご了解ください。

(5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

(6) 顧客または第三者が本機器を正しく使用されなかった場合や本機器が静電気、電気的衝撃を受けた場合は、修理や電池交換の際に記憶内容が変化あるいは消失するおそれがあります。

(7) 本機器は日本国内でのみ使用可能です。海外では規格が異なるため、使用できません。

(8) 本書に記載されているハードウェアもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標、もしくは登録商標です。

著作権について

◇ 本取扱説明書の内容に対するすべての著作権はサン電子株式会社にあります。

サン電子株式会社の事前承認なしで、本取扱説明書の全部または一部を無断複製および翻訳配布、また商業的に利用することはできなく、これに違反すると著作権侵害になります。

また、本取扱説明書のすべての内容は、製品の機能および性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

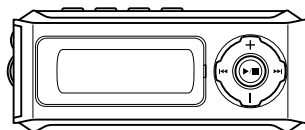
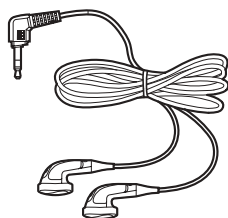
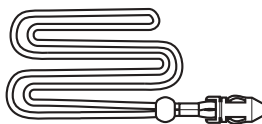
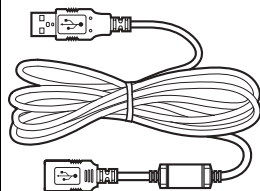
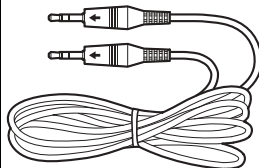
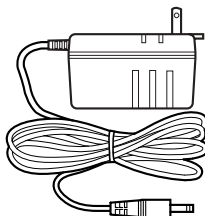
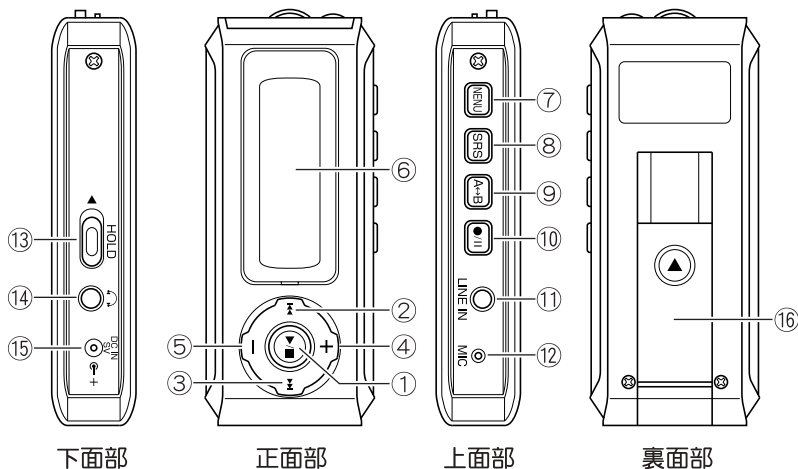
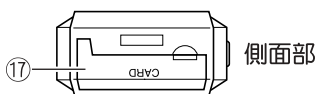
これによる製品と取扱説明書上の相異によって発生する事項に対する当社の責任はありません。

◇ MP3 ファイルを個人的な用途ではなく、商業的またはサービスの目的で使用することはできません。これに違反することは、国内著作権法に触れる行為になります。

録音した内容を個人的に使用する目的以外に無断複製することは法律で禁止されています。

もくじ

製品内容の確認

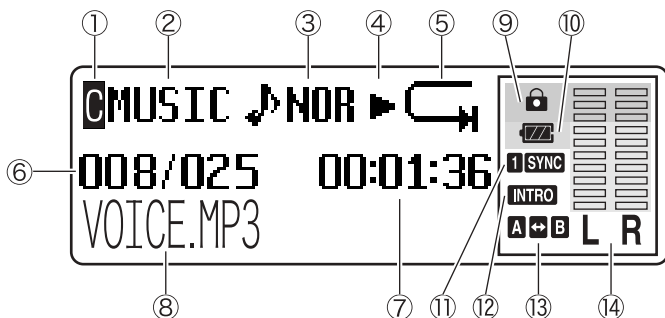
お使いになる前に、次の製品内容が揃っていることをご確認ください。

各部の名称と機能

正面部		
①	▶/■ ボタン (再生/停止ボタン)	**【電源 OFF 時】** 長押し：電源が入ります。 **【停止時】** 短押し：再生を開始します。 長押し：電源が切れます。 **【再生中】** 短押し：再生を停止します。 長押し：イントロ再生を開始します。 **【イントロ再生中】** 短押し：イントロ再生を解除し、通常再生に戻ります。 **【プレイメニュー／設定メニュー】** 短押し：プレイメニュー／設定メニューの項目を選択します。

<table>
<tr><td>②</td><td>⏮ ボタン</td><td>【停止時】
短押し：前ファイルの先頭にスキップします。
長押し：前ファイルへのスキップをくり返します。
【再生中】
短押し：再生しているファイルの先頭にスキップして再生を開始します。
長押し：ファイルを早戻しします。
【A-B 間リピート再生中】
短押し：A-B間リピート再生が解除され、再生しているファイルの先頭にスキップして再生を開始します。
【イントロ再生中】
短押し：イントロ再生のまま、前ファイルにスキップします。
【プレイメニュー／設定メニュー】
短押し：メニュー項目を左方向へ移動します。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>⏭ ボタン</td><td>【停止時】
短押し：次ファイルの先頭へスキップします。
長押し：次ファイルへのスキップをくり返します。
【再生中】
短押し：次ファイルの先頭へスキップして再生を開始します。
長押し：ファイルを早送りします。
【A-B 間リピート再生中】
短押し：A-B間リピート再生が解除され、次ファイルの先頭へスキップして再生を開始します。
【イントロ再生中】
短押し：イントロ再生のまま、次ファイルへスキップします。
【プレイメニュー／設定メニュー】
短押し：メニュー項目を右方向へ移動します。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>＋ ボタン</td><td>【停止時／再生中／録音中】
短押し：1レベル単位で音量レベルを上げます。
長押し：連続して音量レベルを上げます。
【フォルダプレイのフォルダ選択時】
短押し：フォルダリストを上方向にスクロールします。</td></tr>
</table>

各部の名称と機能（つづき）

⑤	ー ボタン	**【停止時／再生中／録音中】** 短押し：1レベル単位で音量レベルを下げます。 長押し：連続して音量レベルを下げます。 **【フォルダプレイのフォルダ選択時】** 短押し：フォルダリストを下方向にスクロールします。
⑥	液晶画面	プレイメニュー・SRS・動作・リピート・再生速度・ファイル情報・ロック・充電レベル・録音機能・イントロ機能・区間再生機能・ボリューム・再生レベルなどの情報が表示されます。
上面部		
⑦	MENU ボタン	**【停止時／再生中】** 短押し：プレイメニューが表示されます。⇒P.14を参照 長押し：設定メニューが表示されます。⇒P.16を参照 **【録音中】** 短押し：録音時間／録音できる残り時間の表示を切り替えます。 **【プレイメニュー／設定メニュー】** 短押し：プレイメニュー／設定メニューを終了します。
⑧	SRS ボタン	**【再生中】** 短押し：設定メニューのSRS設定画面が表示されます。 **【停止時】** 短押し：現在表示されているファイルにブックマークを付けます。再度短押しするとブックマークを解除します。
⑨	A-B ボタン	**【停止時】** 短押し：メモリカード装着時に内蔵メモリ／メモリカードを切り替えます。 **【再生中】** 短押し：最初の短押しでリピート再生のA（開始）ポイント、次の短押しでB（終了）ポイントを設定した後、設定されたA-B間を自動的にリピート再生します。 長押し：再生速度を変更します。 **【A-B 間リピート再生中】** 短押し：区間再生を解除し、通常再生に戻ります。

⑩	●/II ボタン (録音/一時停止ボタン)	**【停止時】** 短押し：録音を開始します。 **【再生中】** 短押し：レッスン機能の録音を開始／終了します。 **【録音中】** 短押し：録音を一時停止します。 **【録音一時停止中】** 短押し：録音を再開します。
⑪	LINE IN端子	オーディオ機器などから録音する場合、付属のオーディオケーブルを接続します。
⑫	内蔵マイク	音声などを録音する小型内蔵マイクです。
下面部		
⑬	ロックスイッチ	ロックスイッチを左にスライドさせると、他のボタン操作が無効になります。
⑭	イヤホン端子	付属のステレオイヤホンを接続します。
⑮	DC-IN端子	付属の充電用ACアダプタを接続します。
裏面部		
⑯	USB端子格納部	USB端子格納フタをスライドさせるとUSB端子が取り出せます。
側面部		
⑰	メモリカード挿入口	メモリカードを差し込みます。

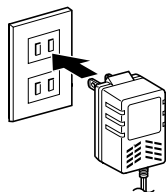
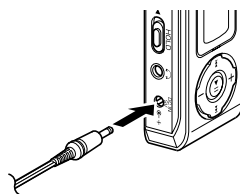
画面表示について

①	使用メモリ	内蔵メモリ使用時は、何も表示されません。 メモリカード使用時は、上図のように「C」が反転表示されます。
②	プレイメニュー	現在のプレイメニューが表示されます。 B-MARK … ブックマークが付けられた録音ファイルを再生するメニューです。 FOLDER … フォルダ内の録音ファイルを再生するメニューです。(ただし、VOICE／LINE フォルダを除く) MUSIC … メモリ内にあるすべての録音ファイルを再生するメニューです。(ただし、VOICE／LINE フォルダ内のファイルを除く) VOICE … 内蔵マイクで録音したファイルを再生するメニューです。 LINE … LINE IN 端子から録音したファイルを再生するメニューです。
③	イコライザ	♪NOR … 標準音質です。 CLA … クラシックに最適な音質です。 POP … ポップスに最適な音質です。 ROC … ロックに最適な音質です。 JAZ … ジャズに最適な音質です。 LIV … ライブに最適な音質です。

④	動作表示	■ … 停止時 ▶ … 再生中 ◀◀ … 早戻し中 ▶▶ … 早送り中 ● … 録音中 II … 一時停止中
⑤	プレイバック	REC … 録音中。 … すべてのファイルを番号順に再生して停止します。 1 … 1ファイルのみをリピート再生します。 … すべてのファイルを番号順にリピート再生します。 … すべてのファイルを順不同にリピート再生します。
	再生速度	通常はプレイバックアイコンが表示されていますが、再生速度の設定時には再生速度が3秒間表示されます。 FAST1 … 1.15倍速 FAST2 … 1.3倍速 SLOW … 0.75倍速 NOR … 1倍速（標準速度）
⑥	ファイル番号	ファイル番号／ファイル数が表示されます。
⑦	再生／録音時間	ファイルの再生時間／再生ファイルの残り時間／録音時間／録音できる残り時間が表示されます。
⑧	ファイル情報	ファイルの情報が表示されます。
⑨	ロック機能	ロック機能がONの場合に表示されます。
⑩	充電レベル	バッテリの充電レベルが表示されます。
⑪	録音機能	表示なし … 手動録音 1 … 1回のみの自動録音 SYNC … 連続自動録音
⑫	イントロ機能	イントロ機能がONの場合に表示されます。
⑬	A-B間 リピート機能	A-B間リピート機能の設定中／再生中に表示されます。
⑭	再生レベル	再生レベルがバー表示されます。

充電する

付属の充電用 AC アダプタで充電します。

充電のしかた

1 家庭用電源コンセントに AC アダプタを差し込みます。

2 本機のDC-IN端子にACアダプタのプラグを接続します。

※ 付属の充電用ACアダプタ以外は使用しないでください。

※ 充電中でも本機を使用することはできます。

※ 本機をパソコンに接続すると、USB の電源を利用して充電することができます。

※ フル充電の状態にするには、約2時間30分の充電時間が必要です。
ただし、上記の充電時間はあくまで目安であり、充電前の充電状況により変化します。

※ 充電時間は、ACアダプタによる充電でも、USB接続による充電でも同様です。

バッテリの残量表示について

十分あります。	
若干消耗しました。	
残りわずかです。早めに充電してください。	
早急に充電してください。	

※ フル充電の状態で、再生時は約12時間、録音時は約9時間使用することができます。
ただし、上記の使用時間はあくまで目安であり、使用状況により変化します。

※ 注意事項
- 長時間録音する場合、録音中にバッテリが不足すると自動的に録音が中断されてしまいます。録音前には、残量表示をよく確認してから録音を開始してください。長時間録音の前には、フル充電しておくことをお勧めします。
- 充電しても残量表示が変化しない場合は、当社へ修理を依頼してください。

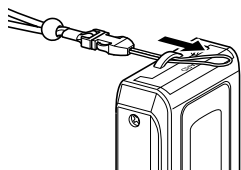
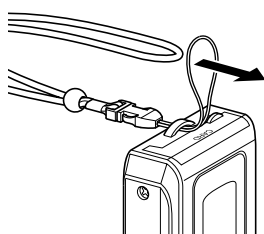
バッテリが不足すると

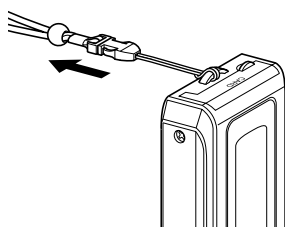
バッテリが不足すると、画面に「Low Battery」が表示され、再生／録音中の場合は再生／録音の待機状態になります。その後、バッテリ不足の状態が続くと画面に再度「Low Battery」を表示して自動的に電源が切れます。

MUSIC ♪NOR ■
Low Battery !!

ネックストラップを取り付ける

本機をポケットに入れて使用していると、ポケットから落下させてしまうことがあります。
ネックストラップを取り付けると、本機を首からさげた状態で使用することができ、落下を防止することができます。

1 ネックストラップの細いひもの部分を本機の穴に通します。

2 細いひもの輪にネックストラップを通します。

3 ネックストラップを引き出して結び目ができるようにします。

ほどけないよう、強めに引っ張ってください。

※ 運動などで激しく体を動かすときは、事故防止のためにネックストラップを首に掛けないでください。

ボタン操作について

ボタンの長押しと短押し

ボタンの操作方法には、短く押す「短押し」と、長めに押す「長押し」の2通りがあります。
本書では、特に指示がないボタン操作を「短押し」としています。
長押しの指示がある場合は、画面を見ながらボタンを押し続け、表示が変わったら離してください。

	動作	本書の表記
長押し	押す → 画面が変わるまで押し続ける（長い） → 離す	長
短押し	押す →（短い）→ 離す （1秒以内）	短

ロック機能

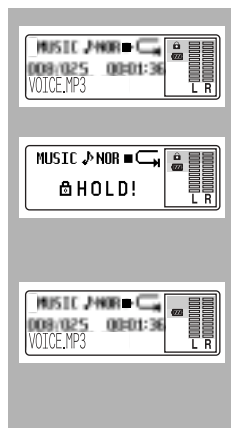
本機では、誤ったボタン操作を防止するためにロック機能が用意されています。ロック中はボタン操作が無効となり、カバンやポケットの中での誤動作を防ぐことができます。

1 ロックをするときは、ロックスイッチを矢印の方向へスライドさせます。

ロック中は画面にロックマークが表示され、ボタン操作が無効となります。

ロック中にボタンを押すと、画面に「HOLD」と表示されます。

2 ロックを解除するときは、ロックスイッチを矢印の方向へスライドさせます。

基本操作について
再生する
録音する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

電源を入れる／切る

1 電源を入れるときは、▶/■ボタンをオープニング画面が表示されるまで長押しします。

HELLO...

しばらくすると、メモリの容量に関する情報が表示されます。

上段に合計容量、下段に使用容量が表示されます。

Total Mem : 256MB
Used Mem : 128MB

次に、ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

Firmware Version
1.0.0.0

2 電源を切るときは、▶/■ボタンを終了画面が表示されるまで長押しします。

終了画面表示後、電源が切れます。

※ 再生／録音中は電源を切ることはできません。停止状態にしてから電源を切ってください。

オートオフ機能

ボタン操作がない状態が一定時間続くと自動的に電源を切ることができます。ただし、再生／録音中はボタン操作がなくても電源が切れることはありません。

電源が切れるまでの時間は、設定メニューの「SYSTEM」→「POWER OFF TIME」で設定することができます。設定メニューの操作については『設定メニューで各機能を設定する』(P.16) を参照してください。

おやすみタイマ機能

再生中に一定時間経過すると自動的に電源を切ることができます。
ただし、録音中に電源が切れることはありません。

電源が切れるまでの時間は、設定メニューの「SYSTEM」→「SLEEP TIME」で設定することができます。設定メニューの操作については『設定メニューで各機能を設定する』(P.16) を参照してください。

音量を調節する

本体正面の＋／－ボタンで
お好みの音量に調節します。

◇ ＋を押すと
音量が大きくなります。

◇ －を押すと
音量が小さくなります。

＋／－ボタンを短押しすると1レベル単位でレベルが増減し、長押しすると連続してレベルが増減します。

音量は停止時／再生中／録音中に調節することができます。

音量は0～30レベルの間で調節することができ、画面の下に音量レベルがバー表示されます。

※ 録音中の音量調節はモニタ音量の調節であり、録音レベルとは関係ありません。

※ 音量は周囲の音が聞こえる程度でお聴きください。
大音量で聴くと、思わぬ事故につながるおそれ、健康を害するおそれがあります。

プレイメニューを選択する

本機で録音したり、パソコンからダウンロードした録音ファイルを５つのプレイメニューに分類できるようになっています。
プレイメニューを選択して、再生するファイルを簡単に呼び出すことができます。

各プレイメニューの内容と画面表示は以下のとおりです。

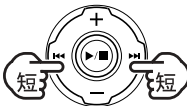
プレイメニュー	内　容	画面表示
BOOK MARK	メモリ内のブックマークが付けられた録音ファイルを再生するメニューです。	B-MARK ♪NOR ■ 008/025 00:00:00 VOICE.MP3
FOLDER	フォルダを選択し、そのフォルダ内の録音ファイルを再生するメニューです。 ただし、VOICE／LINEフォルダを選択することはできません。	FOLDER ♪NOR ■ 008/025 00:00:00 VOICE.MP3
MUSIC	メモリ内にあるすべての録音ファイルを再生するメニューです。 ただし、VOICE／LINEフォルダ内のファイルを再生することはできません。	MUSIC ♪NOR ■ 008/025 00:00:00 VOICE.MP3
VOICE	内蔵マイクで録音したファイルを再生するメニューです。	VOICE ♪NOR ■ 008/025 00:00:00 V009.MP3
LINE	LINE IN 端子から録音したファイルを再生するメニューです。	LINE ♪NOR ■ 008/008 00:00:00 L008.MP3

プレイメニューの選択方法は、以下のとおりです。

1 停止時に MENU ボタンを押します。

プレイメニューが表示されます。

2 ⏮／⏭ ボタンを押してプレイメニューを選択します。

⏮／⏭ ボタンで左右にプレイメニューの反転表示が切り替ります。

3 ▶/■ボタンを押します。

反転表示しているプレイメニューが選択され、選択したプレイメニューの画面が表示されます。

基本操作について
再生する
録音する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

設定メニューで各機能を設定する

本機は、設定メニューで各機能を設定することができます。

設定メニューには、4つの設定メニュー（SYSTEM、SOUND、DISPLAY、SRSメニュー）とファイルやフォルダを消去するDELETEメニューがあります。

各設定メニューのサブメニューと内容、画面表示は以下のとおりです。

設定メニュー	サブメニュー	内　容	画面表示
SYSTEM MENU	PLAYBACK	リピート機能（プレイバック）を設定します。	MUSIC NOR RES PLAYBACK
	POWER OFF TIME	オートオフ機能を設定します。	MUSIC NOR RES POWER OFF TIME
	SLEEP TIME	おやすみタイマ機能を設定します。	MUSIC NOR RES SLEEP TIME
	INTRO TIME	イントロ機能を設定します。	MUSIC NOR RES INTRO TIME
	ENCODE	内蔵マイクとライン入力の録音ビットレートを設定します。	MUSIC NOR ENC RES ENCODE
	RESUME	この機能をONにすると、電源を切る前に再生していたファイルの停止位置を記憶し、次回電源を入れたときに、その位置から自動的に再生を開始させることができます。	MUSIC NOR RES RESUME
	DEFAULT	この機能をYESにすると、設定メニューの設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。	MUSIC NOR DEFAULT
	EXIT	設定メニューに戻ります。	MUSIC NOR EXIT

設定メニュー	サブメニュー	内　　容	画面表示
SOUND MENU	EQUALIZER	音質を音楽のジャンルで設定します。	MUSIC ♪NOR EQUALIZER
	USER EQUALIZER	イコライザのレベルを周波数別に設定します。	MUSIC ♪NOR USER EQUALIZER
	SRS USER SETTING	SRS機能（3Dサウンド再生機能）のレベルを設定します。	MUSIC ♪NOR USER EQUALIZER
	BEEP SOUND	ボタンを押したときの確認音を設定します。	MUSIC ♪NOR BEEP SOUND
	DEFAULT VOLUME	電源を入れたときの音量を設定します。	MUSIC ♪NOR DEFAULT VOLUME
	EXIT	設定メニューに戻ります。	MUSIC ♪NOR EXIT
DISPLAY MENU	FONT	ID3 TAG を選択した場合、画面のファイル情報を表示する言語を設定します。	MUSIC ♪NOR FONT
	BACKLIGHT COLOR	画面のバックライト色を設定します。	MUSIC ♪NOR BACKLIGHT COLOR
	ID3 TAG	画面のファイル情報を設定します。	MUSIC ♪NOR ID3 TAG
	SCROLL SPEED	画面のスクロール速度を設定します。	MUSIC ♪NOR SCROLL SPEED

設定メニューで各機能を設定する（つづき）

設定メニュー	サブメニュー	内　容	画面表示
DISPLAY	BACKLIGHT TIME	画面のバックライト点灯時間を設定します。	MUSIC ♪NOR ■ BACKLIGHT TIME
	LCD CONTRAST	画面のコントラストを設定します。	MUSIC ♪NOR ■ LCD CONTRAST
	EXIT	設定メニューに戻ります。	MUSIC ♪NOR ■ EXIT
SRS MENU	NORMAL	SRS機能（3Dサウンド再生機能）は設定しません。	MUSIC ♪NOR ■ NORMAL
	WOW EFFECT	SRS機能（3Dサウンド再生機能）をWOWに設定します。 WOWとは、SRSとTRUBASSを兼ね合わせた音響効果です。	MUSIC ♪NOR ■ WOW EFFECT
	SRS EFFECT	SRS機能（3Dサウンド再生機能）をSRSに設定します。 SRSとは、自然な立体感を得るための音響効果です。	MUSIC ♪NOR ■ SRS EFFECT
	TruBass EFFECT	SRS機能（3Dサウンド再生機能）をTruBassに設定します。 TruBassとは、豊かな低音を得るための音響効果です。	MUSIC ♪NOR ■ TruBass EFFECT
	EXIT	設定メニューに戻ります。	MUSIC ♪NOR ■ EXIT

設定メニュー	サブメニュー	内　容	画面表示
DELETE MENU	DELETE ONE	このメニューは設定メニューではありません。ファイルやフォルダを消去する場合に使用します。消去方法は『消去する』(P.39)を参照してください。	MUSIC ♪NOR ■ DELETE ONE
	DELETE FOLDER		MUSIC ♪NOR ■ DELETE FOLDER
	FORMAT		MUSIC ♪NOR ■ FORMAT
	EXIT	設定メニューに戻ります。	MUSIC ♪NOR ■ EXIT
EXIT		設定メニューを終了します。	MUSIC ♪NOR ■ EXIT

設定項目の詳細内容については『設定項目の詳細』(P.47)を参照してください。

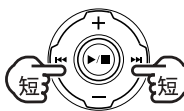
設定メニューで各機能を設定する（つづき）

各機能の設定方法は、以下のとおりです。

1 停止時／再生中にMENUボタンを長押します。

設定メニューが表示されます。

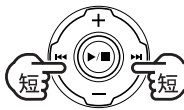
2 ⏮／⏭ ボタンを押して、設定メニューを選択します。

⏮／⏭ ボタンで左右に設定メニューの反転表示が切り替ります。

3 ▶/■ボタンを押します。

反転表示している設定メニューが選択され、選択した設定メニューのサブメニューが表示されます。

「EXIT」を選択していた場合は、設定メニューを終了します。

4 ⏮／⏭ ボタンを押して、サブメニューを選択します。

⏮／⏭ ボタンで左右にサブメニューの反転表示が切り替ります。

5 ▶/■ボタンを押します。

反転表示しているサブメニューが選択され、選択したサブメニューの設定項目が表示されます。

「EXIT」を選択していた場合は、設定メニューに戻ります。

以降の操作については、選択したサブメニューにより異なります。
『設定の変更例』(P.45) で、音質の設定を変更する場合の例を紹介しています。

ファイルを再生する

本機は、パソコンからダウンロードしたMP3・WMAファイル、または内蔵マイクやオーディオ機器から録音したMP3ファイル、Masterシリーズのトークマスターで録音したRVFファイルを再生することができます。

これらのファイルを再生するには、プレイメニューの「BOOK MARK PLAY」「FOLDER PLAY」「MUSIC PLAY」「VOICE PLAY」「LINE IN PLAY」の何れかを選択してください。プレイメニューの選択については『プレイメニューを選択する』(P.14)を参照してください。

再生する

1 プレイメニューを選択後、「◀◀／▶▶I ボタンを押して再生するファイル番号を選択します。

選択したプレイメニューにファイルが存在しない場合は、画面に「No Files」と表示されます。

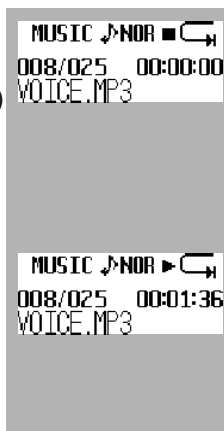
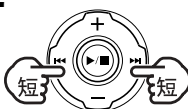
MUSIC ♪NOR ■
008/025 00:00:00
VOICE.MP3

2 ▶/■ボタンを押します。

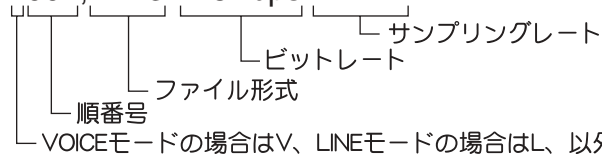
再生を開始します。

画面の動作表示が■から▶に変わり、再生中のファイル情報が表示されます。

適切な音量でお楽しみください。

MUSIC ♪NOR ▶
008/025 00:01:36
VOICE.MP3

ファイルを再生する（つづき）

ファイル選択時および再生中の画面表示について

ファイル選択時や再生中の画面には、ファイル名が表示されます。
ファイル名は、「3桁の順番号,ファイル形式-ビットレート-サンプリングレート」で構成されています。

※ MP3ファイルの場合、3桁の順番号とファイル形式の替わりにID3 Tag情報（アーティスト名、曲のタイトル）を表示させることができます。ID3 Tag情報を表示させるには、設定メニューの「DISPLAY MENU」→「ID3 TAG」で設定することができます。設定については『設定メニューで各機能を設定する』（P.16）を参照してください。

※ ID3 Tagとは
MP3ファイルは、ID3 Tagと呼ばれる文字情報を記憶させる領域があり、このID3 Tagによりアーティスト名や曲のタイトルなどを画面に表示させることができます。

ブックマーク（しおり）を付ける

よく聴くファイルにブックマーク（しおり）を付けることができます。
ブックマークを付けたファイルは､MUSIC プレイ以外に BOOK-MARK プレイでも再生することができます。

※ BOOK-MARKプレイとは、ブックマークの付いたファイルのみを再生するプレイメニューです。

停止時に SRS ボタンを押します。

MUSIC ♪NOR ■
008/025 00:00:00
VOICE.MP3

現在表示されているファイルにブックマークが付き､画面のファイル番号と時間表示の間にブックマークのアイコンが表示されます。

ブックマークを解除するには､再度SRSボタンを押します。

※ MUSICプレイで再生できるファイルのみにブックマークを付けることができます。

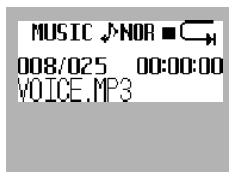
※ ブックマークが付けられるのは､最大20ファイルまでです。

停止する

再生中に ▶/ ■ボタンを押します。

MUSIC ♪NOR ■
008/025 00:00:00
VOICE.MP3

再生が停止します。

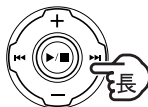
画面の動作表示が ▶ から■に変わります。

※ 本機では停止操作をしても、その停止位置が保持されていますので、次の再生操作によって続きを聴くことができます。一般の IC プレイヤーのように、停止操作によって再生していたファイルの先頭に戻ってしまうことはありません。
本機の停止・再生動作は、一般の IC プレイヤーの一時停止機能（ポーズ機能）と同様の動作になります。本機に一時停止機能（ポーズ機能）がないのはそのためです。

ファイルを再生する（つづき）

早送り／早戻しする

再生中に ⏮／⏭ ボタンを長押しします。

◇ ⏮ ボタンを長押しすると
早戻しを開始します。
画面の動作表示が▶から◀◀に変わります。

◇ ⏭ ボタンを長押しすると
早送りを開始します。
画面の動作表示が▶から▶▶に変わります。

早送り／早戻しの速度について
⏮／⏭ ボタンを
・2秒以上押し続けると5倍速
・4秒以上押し続けると10倍速
・6秒以上押し続けると100倍速
で早送り／早戻しします。

※ ⏮／⏭ ボタンを2秒以上押し続けると、ボタンを離しても早送り／早戻しは継続します。ボタンを離した後、早送り／早戻しを解除して通常の再生に戻るには、▶/■ボタンを押します。

ファイルをスキップする

再生中に I◀◀／▶▶I ボタンを短押しします。

MUSIC ♪NOR ▶
008/025　00:00:00
VOICE.MP3

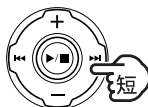
◇ I◀◀ ボタンを短押しすると

再生時間が５秒未満の場合、前のファイルの先頭にスキップし、再生を開始します。

再生時間が５秒以上の場合、再生中のファイルの先頭にスキップし、再生を開始します。

◇ ▶▶I ボタンを短押しすると

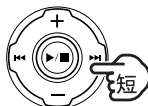
次のファイルの先頭へスキップし、再生を開始します。

停止中に I◀◀／▶▶I ボタンを短押し／長押しします。

MUSIC ♪NOR ■
008/025　00:00:00
VOICE.MP3

◇ I◀◀ ボタンを短押しすると

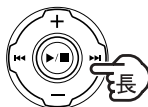
前のファイルにスキップします。

◇ ▶▶I ボタンを短押しすると

次のファイルへスキップします。

◇ I◀◀ ボタンを長押しすると

前のファイルに連続スキップします。

◇ ▶▶I ボタンを長押しすると

次のファイルへ連続スキップします。

再生機能を活用する

基本操作について
再生する
録音する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

ファイルの再生に関する便利な機能について説明します。
この機能を活用して上手にお使いください。

再生速度を変える（速度調整機能）

ファイルの再生速度を変更することができます。
速度調整機能には、4 つの再生速度が用意されています。

再生中に A-B ボタンを長押しします。

MUSIC ♪NOR FAST1
008/025 00:01:36
VOICE.MP3

A-B ボタンを長押しするごとに、再生速度を切り替えることができます。

再生中にA-Bボタンを長押しすると、画面にFAST1が表示され、長押しするごとに FAST1 → FAST2 → SLOW → NOR の順に切り替ります。

再生速度は以下のとおりです。

FAST1：1.15倍速
FAST2：1.3倍速
SLOW ：0.75倍速
NOR ：1倍速（標準速度）

再生速度は設定時に3秒間表示されます。

※ 変更した再生速度は、再生を停止すると解除されます。

イントロ部分を再生する（イントロ機能）

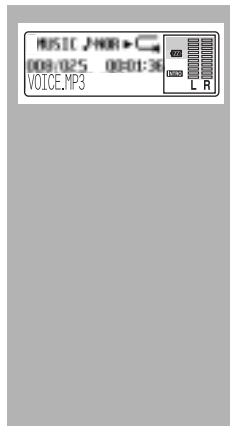
ファイルのイントロ部分（先頭部分）のみを再生することができます。

再生中に▶/■ボタンを長押しします。

イントロ再生を開始します。

イントロ再生中は、画面に「INTRO」と表示されます。

イントロ機能を解除して、通常の再生に戻るには、再度▶/■ボタンを長押しします。

イントロ部分の再生時間は、設定メニューの「SYSTEM MENU」→「INTRO TIME」で設定することができます。設定については『設定メニューで各機能を設定する』（P.16）を参照してください。

リピート再生する（リピート機能）

プレイバックを設定することにより、リピート再生することができます。
プレイバックには、4つの再生方法が用意されています。

各プレイバックの再生方法と画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

	プレイバック	再生方法	アイコン
①	NORMAL（標準再生）	すべてのファイルを番号順に再生して停止します。	
②	RPT ONE	1ファイルのみをリピート再生します。	
③	RPT ALL	すべてのファイルを番号順にリピート再生します。	
④	SHUFFLE	すべてのファイルを順不同でリピート再生します。	

※ フォルダ内のファイルを再生する場合は、そのフォルダ内のファイルのみがリピート再生の対象になります。

プレイバックは、設定メニューの「SYSTEM MENU」→「PLAYBACK」で設定することができます。設定については『設定メニューで各機能を設定する』（P.16）を参照してください。

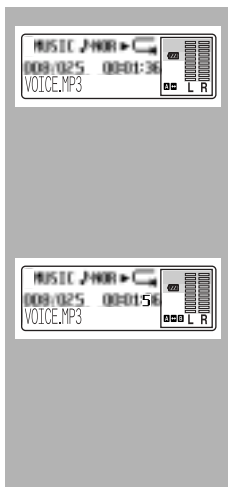
再生機能を活用する（つづき）

設定した区間をリピート再生する（A-B間リピート機能）

再生中に区間（A-B 間）設定することにより、設定した区間（A-B 間）をリピート再生することができます。

1 再生中に開始ポイントで A-B ボタンを押します。

リピート区間の開始ポイント A が設定されます。

開始ポイントでA-Bボタンを押すと、画面に「A↔」と表示されます。

2 終了ポイントで A-B ボタンを押します。

リピート区間の終了ポイントBが設定され、設定した A-B 間のリピート再生を開始します。

終了ポイントでA-Bボタンを押すと、画面に「A↔B」と表示されます。

※ A-B間リピート機能を解除して通常の再生に戻るには、A-Bボタンを押します。

音質を選ぶ（イコライザ機能）

再生する曲のジャンルに合せて、最適な音質にすることができます。
イコライザ機能には、6つの音質が用意されています。
各イコライザの最適な音楽ジャンルと内容は以下のとおりです。

	イコライザ	音楽ジャンル	内　　容
①	NORMAL	標準音質	音質効果はありません。
②	CLASSIC	クラシック	ソフトな音質で、クラシックに最適です。
③	POP	ポップス	メリハリのある音質で、ポップスに最適です。
④	ROCK	ロック	パンチの効いた音質で、ロックに最適です。
⑤	JAZZ	ジャズ	高音部が鮮明な音質で、ジャズに最適です。
⑥	LIVE	ライブ	臨場感のある音質で、ライブに最適です。

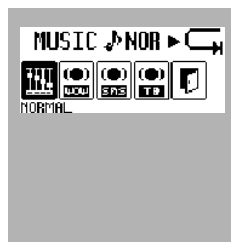
イコライザ機能は、設定メニューの「SOUND MENU」→「EQUALIZER」で設定することができます。設定については『設定メニューで各機能を設定する』（P.16）を参照してください。

音に臨場感を与える（SRS機能）

音に臨場感を与える 3D サウンドを設定することができます。

再生中に SRS ボタンを押します。

設定メニューの SRS 設定画面が表示されます。

SRSの設定については『SRS機能の設定（SRS メニュー）』（P.52）を参照してください。

再生機能を活用する（つづき）

レッスン機能を利用する（レッスン機能）

レッスン機能とは、例えばラジオから録音した英会話講座を聞きながら自分の発音を内蔵マイクから録音し、英会話講座の発音と聞き比べたいときに利用する機能です。

ここでは、レッスン機能の内容をよりわかりやすくするため、具体的な例をもとに説明します。

例）英会話講座のファイルを聞きながら自分の発音を録音し、英会話講座の先生の発音と自分の発音を聞き比べします。

〈レッスンモード〉イメージ図

講座の再生中

再生は一時停止

（先生の声）

Bでレッスンボタンを押すと自分の発音を録音開始します。

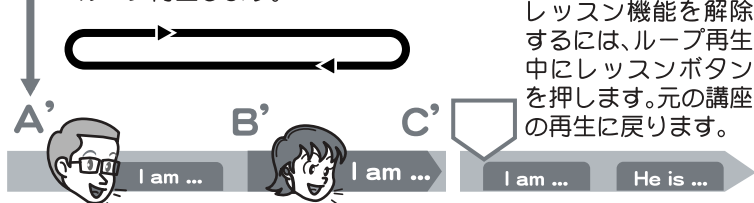
C

自分の発音

Cで再びレッスンボタンを押すとA' まで戻って
A'→B'（先生の声でI am ...）とB'→C'（自分の声でI am ...）を
ループ再生します。

レッスン機能を解除するには、ループ再生中にレッスンボタンを押します。元の講座の再生に戻ります。

C'

I am ...　He is ...

※自分の発音は、先生の声（I am ...）とできるだけ同じ速度で発音してください。

1 **英会話講座ファイルの聞き比べしたい部分の再生が終わった時点で、●/ II ボタンを押して自分の発音を録音します。**

プレイメニューが表示されている部分（画面左上）に「LESSON」が表示され、レッスン機能を開始します。画面には、レッスン録音の秒数が表示されます。

① 英会話講座ファイルの再生が一時停止
② 画面の動作表示が▶から●RECに変わり、録音状態になっていることを確認
③ 内蔵マイクから自分の発音を録音

2 **内蔵マイクからの録音が終了したら、再度●/ II ボタンを押します。**

例として、内蔵マイクから7秒間録音した場合

① 英会話講座ファイルの一時停止位置より7秒戻った位置から一時停止位置まで再生
② 英会話講座ファイルが再度一時停止
③ 内蔵マイクで録音された内容を再生（7秒間）
④ ①～③をくり返します。

3 **レッスン機能を解除するには、再度●/ II ボタンを押します。**

レッスン機能が解除され、通常の再生に戻ります。

※ 内蔵マイクからの録音は最大60秒間です。内蔵マイクからの録音が60秒経過しても●/ II ボタンが押されない場合は、自動的にレッスン録音を停止して●/ II ボタンを押したときと同様の処理を行います。

録音する前に

録音する前に、次のことを選択・確認してください。

◇ 録音するメモリの選択
メモリカードを装着している場合は、録音するメモリを選択してください。
詳細については『メモリカードを装着する』(P.57) を参照してください。

◇ メモリ残量の確認
録音中にメモリが不足すると自動的に録音が停止します。
メモリ残量は、本機の電源を入れるとオープニング画面に続いて表示されるメモリ容量に関する情報（合計容量と使用容量）で確認してください。表示される内容については『電源を入れる／切る』（P.12）を参照してください。

◇ バッテリ残量の確認
録音中にバッテリが不足すると自動的に録音が停止します。画面の充電レベル表示で確認してください。

◇ 録音方法の選択
ライン入力の録音方法には、自動録音（音声信号を検知して録音開始）と手動録音（ボタンを押して録音開始）があります。
詳細については『録音方法を選択する』（P.33）を参照してください。

※内蔵マイクでの録音は手動録音のみです。

◇ ビットレートの選択
ビットレートには、内蔵マイク録音用とライン入力録音用があります。
詳細については『ビットレートを選択する』(P.34) を参照してください。

VOICE（内蔵マイク）録音とLINE IN録音

プレイメニューに関係なく停止状態であれば、録音ボタンを押すだけで内蔵マイクによる録音が始まります。
また､LINE IN 端子にプラグが接続されているとライン録音となり内蔵マイクは働きません。

内蔵マイクの録音は「VOICE PLAY」メニューに保存され、ライン録音は「LINE IN PLAY」メニューに保存されます。

録音方法を選択する

オーディオ機器などからライン入力で録音する場合、録音方法を選択します。
ライン入力の録音には、3つの録音方法が用意されています。
録音方法とその内容は以下のとおりです。

	録音方法	内　　容
①	AUTO SYNC	自動で複数の曲を録音することができます。(曲間の無音部分を検出して曲を区切ります。) ●/ⅡボタンIを押した後、ラインからの信号を検知すると録音を開始します。 詳細については『録音する（自動録音）』（P.35）を参照してください。
②	ONE SYNC	自動で1曲のみを録音することができます。 ●/Ⅱボタンを押した後、ラインからの信号を検知すると録音を開始します。 詳細については『録音する（自動録音）』（P.35）を参照してください。
③	SYNC OFF	●/Ⅱボタンを押して手動で録音を開始します。 詳細については『録音する（手動録音）』（P.36）を参照してください。

録音方法は、設定メニューの「SYSTEM MENU」→「ENCODE」→「ENCORD SYNC」で設定することができます。設定については『設定メニューで各機能を設定する』（P.16）を参照してください。

録音する前に（つづき）

ビットレートを選択する

録音時のビットレートを選択します。

● 内蔵マイク録音

内蔵マイクで録音する場合、2つの音質から選択します。
それぞれのビットレートは以下のとおりです。

	音　　質	ビットレート，サンプリングレート
①	LP（標準音質）	16Kbps, 16KHz
②	HQ（高音質）	32Kbps, 16KHz（初期設定値）

ビットレートは、設定メニューの「SYSTEM MENU」→「ENCODE」→「ENCORD BITRATE」→「VOICE BITRATE」で設定することができます。設定メニューについては『設定メニューで各機能を設定する』(P.16)を参照してください。

● ライン入力録音

ライン入力で録音する場合、6種類のビットレートから選択します。
それぞれのビットレートは以下のとおりです。

①	48Kbps	③	96Kbps	⑤	160Kbps
②	64Kbps	④	128Kbps（初期設定値）	⑥	192Kbps

ビットレートは、設定メニューの「SYSTEM MENU」→「ENCODE」→「ENCORD BITRATE」」→「MP3 BITRATE」で設定することができます。設定メニューについては『設定メニューで各機能を設定する』(P.16)を参照してください。

※ 内蔵マイク、ライン入力のいずれの場合もMP3形式で録音されます。

※ ビットレートとは
　32Kbps, 16KHzの場合、32Kbpsがビットレート、16KHzがサンプリングレートです。

- ビットレート
  １秒間録音するために必要なデータ量を表わし、数値が高いほど密度の高い音質（高音質）になります。
  ただし、高ビットレートであるほど記憶容量は増加します。
- サンプリングレート
  音声信号を１秒間にどれくらい細かく分割してアナログデータからデジタルデータに変換するかを表わし、数値が高いほど再生できる音域が広くなります。
  ただし、高サンプリングレートであるほど記憶容量は増加します。

録音する

録音する（自動録音）

ライン入力の録音で録音方法が「AUTO SYNC」または「ONE SYNC」に設定されている場合は自動録音することができます。
録音方法は、設定メニューの「SYSTEM MENU」→「ENCODE」→「ENCORD SYNC」で設定することができます。設定メニューについては『設定メニューで各機能を設定する』（P.16）を参照してください。

1 本機のLINE IN端子とオーディオ機器のイヤホン端子（外部出力端子／LINE OUT端子）をオーディオケーブルで接続し、オーディオ機器の電源を入れてすぐに再生できる状態にします。

2 ●/II ボタンを押します。

画面がLINEメニューになり、動作表示が■から●に変わり録音待機状態になります。

MENU SRS A↔B ●/II 短

LINE ♪NOR ●
008/008 00:00:00
L008.MP3

3 オーディオ機器で再生を開始します。

オーディオ機器からの信号を検知して自動的に録音が開始され、録音時間のカウントが始まります。

録音方法が「AUTO SYNC」の場合、複数の曲を録音することができます。曲間の無音部分を検知してファイル番号を自動更新しながら録音を続けます。

録音方法が「ONE SYNC」の場合、1曲のみ録音して終了します。

LINE ♪NOR ● REC
008 00:00:01
L008.MP3

※ 録音を終了する場合は、本機からオーディオケーブルを外してください。その時点で録音は終了します。

※ オーディオ機器のボリュームを上げすぎると雑音により無音部分が検知できなくなる場合があります。また、ボリュームを下げすぎると信号が検知できなくなる場合があります。
誤動作しないように適切なボリュームで録音してください。

録音する（つづき）

録音する（手動録音）

内蔵マイクで録音する場合とライン入力の録音で録音方法が「SYNC OFF」に設定されている場合は手動録音になります。

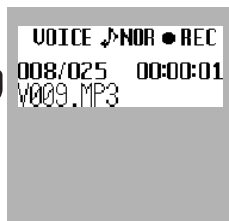
ライン入力での録音方法は、設定メニューの「SYSTEM MENU」→「ENCODE」→「ENCORD SYNC」で設定することができます。設定メニューについては『設定メニューで各機能を設定する』（P.16）を参照してください。

1 ライン入力の場合は、本機のLINE IN端子とオーディオ機器のイヤホン端子（外部出力端子／LINE OUT端子）をオーディオケーブルで接続します。

2 ●/ II ボタンを押します。

録音を開始します。

内蔵マイクで録音する場合はVOICEメニューに、ライン入力で録音する場合はLINEメニューになり、画面の動作表示が■から●に変わります。

VOICE ♪NOR ● REC
008/025 00:00:01
V009.MP3

※ 内蔵マイクでの録音中にオーディオケーブルを本機に接続した場合、その時点で録音は終了します。

※ ライン入力の録音中に本機からオーディオケーブルを外した場合、その時点で録音は終了します。

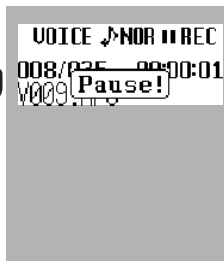
※ 内蔵マイクとLINE IN端子では、LINE IN端子が優先されます。
内蔵マイクで録音する場合は、LINE IN端子にオーディオケーブルが接続されていないことを確認してください。

一時停止する

録音中に●／IIボタンを押します。

録音が一時停止します。

画面の動作表示が●からIIに変わり、「Pause」が表示されます。

一時停止を解除して録音を再開させるには、再度●／IIボタンを押します。

停止する

録音中に▶／■ボタンを押します。

録音を停止します。

画面の動作表示が●から■に変わります。

録音できる残り時間を確認する（録音リメイン機能）

現在のメモリ残量で録音できる残り時間を確認することができます。

録音中にMENUボタンを押します。

録音できる残り時間が画面に表示されます。

再度MENUボタンを押すと、録音時間表示に戻ります。

※ 録音できる残り時間は、現在録音しているビットレートで計算された時間が表示されます。ビットレートが変われば、録音できる残り時間も変わってきます。

録音する（つづき）

録音中にメモリが不足すると

録音中にメモリが不足した場合は、画面に「MEMORY FULL」が表示され、録音待機状態になります。

不要なファイルやフォルダを消去するか、メモリカードを使用してください。

ファイルやフォルダの消去方法は、『消去する』（P.39）を参照してください。

LINE ♪NOR ●REC
MEMORY FULL!!

録音できるファイル数を超えると

録音できるファイル数を超えた場合は、画面に「INDEX FULL」が表示され、録音待機状態になります。

不要なファイルやフォルダを消去するか、メモリカードを使用してください。

ファイルやフォルダの消去方法は、『消去する』（P.39）を参照してください。

LINE ♪NOR ●REC
INDEX FULL!!

各プレイメニューで録音できるファイル数は以下のとおりです。
ただし、FOLDERメニューではフォルダの数も関係します。

プレイメニュー	ファイル数
FOLDER	フォルダ数とファイル数を合計して256個
MUSIC	999ファイル
VOICE	256ファイル
LINE	256ファイル

※ FOLDER メニューのフォルダは、サブフォルダ（フォルダの中にフォルダを持つ）を10階層まで持つことができます。

消去する

不要なファイルやフォルダを消去することにより、メモリの空容量を増やすことができます。

消去方法について

3つの消去方法が用意されています。消去方法とその内容は以下のとおりです。

	消去方法	内　　容
①	ONE	プレイメニュー（MUSIC／VOICE／LINE）を指定して、そのプレイメニュー内のファイルをひとつずつ消去します。
②	FOLDER	フォルダを選択して消去します。 選択したフォルダとフォルダ内に存在するファイルがすべて消去されます。選択したフォルダ内に、さらにフォルダが存在する場合は、そのフォルダおよびフォルダ内のファイルも消去対象になります。
③	FORMAT	メモリのすべてを消去します。（初期化）

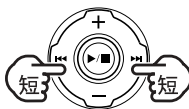
※ ファイルを消去すると、消去したファイル以降のファイル番号がひとつずつ繰り上がります。
※ 消去されたファイルを復元させることはできません。
※ メモリカードでも同様に消去することができます。

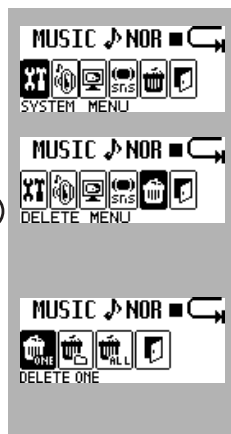
ファイル／フォルダの消去は、設定メニューで行います。
設定メニューでの操作方法は、以下のとおりです。

1 停止時／再生中にMENUボタンを長押しします。

設定メニューが表示されます。

2 ⏮／⏭ボタンを押して、「DELETE MENU」を選択します。

⏮／⏭ボタンで左右に設定メニューの反転表示が切り替ります。

3 ▶/■ボタンを押します。

「DELETE MENU」のサブメニューが表示されます。
「EXIT」を選択していた場合は、設定メニューを終了します。

サブメニュー以降の操作は、消去方法により異なります。次ページからの「ファイルを消去する」「フォルダを消去する」「すべてを消去する（初期化）」を参照してください。

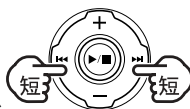
消去する（つづき）

基本操作について
再生する
録音する
消去する
設定を変更する
パソコンに接続する

ファイルを消去する

1 前ページ『消去方法について』の手順1～3を参照してください。

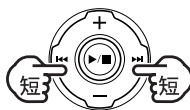
2 ⏮／⏭ ボタンを押して、「DELETE ONE」を選択します。

⏮／⏭ ボタンで左右にサブメニューの反転表示が切り替ります。

3 ▶/■ボタンを押します。

プレイメニュー（MUSIC／VOICE／LINE）が表示されます。

「EXIT」を選択していた場合は、設定メニューに戻ります。

4 ⏮／⏭ ボタンを押して、消去するファイルのプレイメニューを選択します。

⏮／⏭ ボタンで左右にメニューの反転表示が切り替ります。

5 ▶/■ボタンを押します。

選択したプレイメニューのファイルリストが表示されます。

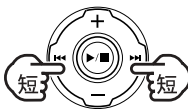
6 ＋／－ボタンを押して、消去するファイルを選択します。

＋／－ボタンで上下にファイルリストのファイル名の前に表示されているアイコンの反転表示が切り替ります。

7 ▶/■ボタンを押します。

選択したファイルの消去確認が表示されます。

8 ⏮／⏭ ボタンを押して、消去する／しないを選択します。

消去する場合は「YES」、消去をキャンセルする場合は「NO」を選択します。

9 ▶/■ボタンを押します。

「YES」を選択した場合は、ファイルを消去してファイルリストに戻ります。

「NO」を選択した場合は、ファイルを消去せずにファイルリストに戻ります。

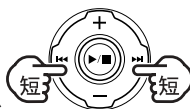
※ ファイルリストで MENU ボタンを押すと、消去を終了して元の画面に戻ります。

消去する（つづき）

フォルダを消去する

1 『消去方法について』（P.39）の手順1～3を参照してください。

2 ⏮／⏭ ボタンを押して、「DELETE FOLDER」を選択します。

⏮／⏭ ボタンで左右にサブメニューの反転表示が切り替ります。

3 ▶/■ボタンを押します。

フォルダリストが表示されます。

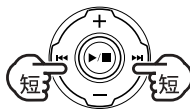
4 ＋／－ボタンを押して、消去するフォルダを選択します。

＋／－ボタンで上下にフォルダリストのフォルダ名の前に表示されているアイコンの反転表示が切り替ります。

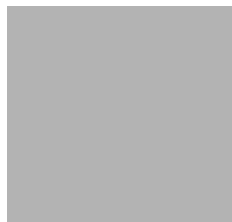
5 ▶/■ボタンを押します。

選択したフォルダの消去確認が表示されます。

6 ⏮／⏭ ボタンを押して、消去する／しないを選択します。

消去する場合は「YES」、消去をキャンセルする場合は「NO」を選択します。

7 ▶/■ボタンを押します。

「YES」を選択した場合は、フォルダを消去してファイルリストに戻ります。

「NO」を選択した場合は、フォルダを消去せずにファイルリストに戻ります。

※ フォルダリストでMENUボタンを押すと、消去を終了して元の画面に戻ります。

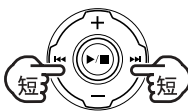
※ 本機でフォルダを消去することはできますが、新しいフォルダを作成することはできません。新しいフォルダを作成するには、パソコンでフォルダを作成してUSB経由で本機にコピーしてください。

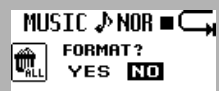
消去する（つづき）

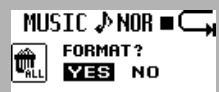
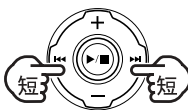
すべてを消去する（フォーマット）

1 『消去方法について』（P.39）の手順1～3を参照してください。

2 ⏮／⏭ ボタンを押して、「FORMAT」を選択します。

⏮／⏭ ボタンで左右にサブメニューの反転表示が切り替ります。

3 ▶/■ボタンを押します。

フォーマットの確認画面が表示されます。

4 ⏮／⏭ ボタンを押して、フォーマットする／しないを選択します。

フォーマットする場合は「YES」、フォーマットをキャンセルする場合は「NO」を選択します。

5 ▶/■ボタンを押します。

「YES」を選択した場合は、フォーマットを実行します。

「NO」を選択した場合は、フォーマットせずに前画面に戻ります。

※ フォーマット確認画面で MENU ボタンを押すと、消去を終了して元の画面に戻ります。

※ メモリをフォーマットするには、内蔵メモリで約3秒かかります。

設定の変更のしかた

本機には、様々な設定項目が用意されています。
使いかたに合わせて設定を変更してください。

設定の変更は、設定メニューで行います。
設定メニューについては『設定メニューで各機能を設定する』（P.16）を参照してください。

設定の変更例

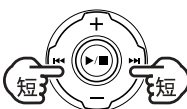
ここでは、音質をポップスに最適な音質（POP）に設定を変更する場合の例を紹介します。

音質は、設定メニューの「SOUND MENU」→「EQUALIZER」で設定します。

1 **停止時／再生中にMENUボタンを長押しします。**

設定メニューが表示されます。

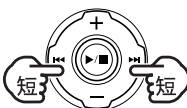
2 **⏮／⏭ボタンを押して、「SOUND MENU」を選択します。**

⏮／⏭ボタンで左右に設定メニューの反転表示が切り替ります。

3 **▶/■ボタンを押します。**

「SOUND」メニューのサブメニューが表示されます。

「EXIT」を選択していた場合は、設定メニューを終了します。

4 **⏮／⏭ボタンを押して、「EQUALIZER」を選択します。**

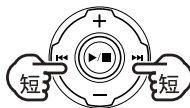
⏮／⏭ボタンで左右にサブメニューの反転表示が切り替ります。

5 **▶/■ボタンを押します。**

音質の設定項目（NORMAL／CLASSIC／POP／ROCK／JAZZ／LIVE）が表示されます。

「EXIT」を選択していた場合は、設定メニューに戻ります。

設定の変更のしかた（つづき）

6 **⏮／⏭ ボタンを押して、「POP」を選択します。**

⏪ ／ ⏭ ボタンで左右にメニューの反転表示が切り替わります。

7 **▶/■ボタンを押します。**

再生音質が「POP」に設定されます。

「EXIT」を選択していた場合は、サブメニューに戻ります。

設定の変更が終了したら「EXIT」を選択して、設定項目画面 → サブメニュー → 設定メニューの順に画面を戻して設定メニューを終了させてください。

設定項目の詳細

各設定メニューの設定内容と設定項目の詳細内容について説明します。
ただし、設定メニューの「DELETE MENU」は設定項目ではなく、ファイルやフォルダ消去する機能です。消去については『消去する』(P.39)を参照してください。

システムに関する設定(SYSTEMメニュー)

システムに関する設定を変更することができます。
SYSTEMメニューで設定できるサブメニューの機能と設定項目、設定内容は、以下のとおりです。
なお、設定項目の太字はデフォルト設定(工場出荷時設定)項目です。

サブメニュー	機　　能	設定項目	設定内容
PLAYBACK	リピート機能(プレイバック)を設定します。 リピート機能とは、再生をくり返すことができる機能です。	**NORMAL**	すべてのファイルを番号順に再生して停止します。
		REPEAT ONE	1ファイルのみをリピート再生します。
		REPEAT ALL	すべてのファイルを番号順にリピート再生します。
		SHUFFLE	すべてのファイルを順不同にリピート再生します。
POWER OFF TIME	オートオフ機能を設定します。 オートオフ機能とは、ボタン操作がない状態が一定時間続くと自動的に電源が切れる機能です。 ただし、再生/録音中は機能しません。	1Min **3Min** 5Min	電源が切れるまでの時間を1/3/5分から選択します。
		ALWAYS ON	オートオフ機能は設定しません。
SLEEP TIME	おやすみタイマ機能を設定します。 おやすみタイマ機能とは、再生中に一定時間経過すると自動的に電源が切れる機能です。 ただし、録音中は機能しません。	**OFF**	おやすみタイマ機能は設定しません。
		15～120min	電源が切れるまでの時間を15～120分の間で15分刻みで設定します。

設定項目の詳細（つづき）

サブメニュー			機　　能	設定項目	設定内容
INTRO TIME			イントロ機能を設定します。 イントロ機能とは、ファイルのイントロ部分（先頭部分）のみを順に再生することができる機能です。	5sec **10sec** 15sec	イントロ部分の再生時間を5／10／15秒から選択します。
ENCODE	SYNC		LINE入力の録音方法を設定します。 録音方法には、自動録音と手動録音があります。	AUTO	複数の曲を自動で録音します。 ●／II ボタンを押した後、ラインからの信号を検知すると自動で録音を開始します。
				ONE	1曲のみを自動で録音します。 ●／II ボタンを押した後、ラインからの信号を検知すると自動で録音を開始します。
				OFF	手動で録音します。 ●／II ボタンを押すと録音を開始します。
	BIT RATE	VOICE	内蔵マイクの録音ビットレートを設定します。	LP	標準音質（16Kbps, 16KHz）で設定します。
				HQ	高音質（32Kbps, 16KHz）で設定します。
		ENCODE	LINE入力の録音ビットレートを設定します。	48Kbps 64Kbps 96Kbps **128Kbps** 160Kbps 192Kbps	録音ビットレートを48／64／96／128／160／192Kbpsから選択します。
RESUME			この機能をONにすると、電源を切る前に再生していたファイルの停止位置を記憶し、次回電源を入れたときに、その位置から自動的に再生を開始させることができます。	ON	設定します。
				OFF	設定しません。

サブメニュー	機　　能	設定項目	設定内容
DEFAULT	設定メニューのすべての設定項目をデフォルト設定（工場出荷時設定）に戻します。	YES	デフォルト設定に戻します。
		NO	現状の設定状態を維持します。

音に関する設定（SOUND メニュー）

音に関する設定を変更することができます。

SOUND メニューで設定できるサブメニューの機能と設定項目、設定内容は、以下のとおりです。
なお、設定項目の太字はデフォルト設定（工場出荷時設定）です。

サブメニュー	機　　能	設定項目	設定内容
EQUALIZER	イコライザ機能を設定します。 イコライザ機能とは、再生する曲のジャンルに合せて、最適な音質にすることができる機能です。	**NORMAL**	標準音質で音質効果はありません。
		CLASSIC	ソフトな音質で、クラシックに最適な音質です。
		POP	メリハリのある音質で、ポップスに最適な音質です。
		ROCK	パンチの効いた音質で、ロックに最適な音質です。
		JAZZ	高音部が鮮明な音質で、ジャズに最適な音質です。
		LIVE	臨場感のある音質で、ライブに最適な音質です。
USER EQ	イコライザのレベルを周波数別に設定します。	-12～+12ｄB **（0dB）**	周波数別（50／200／1K／3K／14KHz）にレベルを-12～+12ｄBの間で3ｄB刻みで設定します。

設定項目の詳細（つづき）

サブメニュー	機　　能	設定項目	設定内容
SRS USER SETTING	SRS機能のレベルを設定します。 SRS機能とは、3Dサウンド再生機能です。	SRS LEVEL 1～10レベル **(5レベル)**	SRSは、自然な立体感を得るための音響効果で、1～10レベルの間で1レベル刻みで設定します。
		TRUBASS LEVEL 1～10レベル **(5レベル)**	TRUBASSは、豊かな低音を得るための音響効果で、1～10レベルの間で1レベル刻みで設定します。
		FOCUS LEVEL LOW／**HIGH**	FOCUSは、音の輪郭を明確にするための音響効果で、LOW／HIGHで設定します。
BEEP	ボタンを押したときの確認音を設定します。	**ON**	確認音を鳴らします。
		OFF	確認音を鳴らしません。
DEFAULT VOLUME	電源を入れたときの音量レベルを設定します。 ただし、設定レベルが前回電源を切ったときの音量レベルより高い場合は、前回の音量レベルが優先されます。	**20**～30レベル	電源を入れたときの音量レベルを20～30レベルの間で1レベル刻みで設定します。
		OFF	DEFAULT VOLUMEは設定しません。

画面に関する設定（DISPLAYメニュー）

画面に関する設定を変更することができます。

DISPLAY メニューで設定できるサブメニューの機能と設定項目、設定内容は、以下のとおりです。
なお、設定項目の太字はデフォルト設定（工場出荷時設定）です。

サブメニュー	機　　能	設定項目	設定内容
FONT	ID3 TAG のファイル情報を表示する場合の言語を設定します。	KOREAN ENGLISH **JAPANESE** CHINESE EUROPE	韓国語／英語／日本語／中国語／欧州語から設定します。
BACKLIGHT COLOR	画面のバックライト色を設定します。	RED **GREEN** BLUE YELLOW MAGENTA CYAN WHITE RANDOM INTRO	赤／緑／青／黄／赤＋青／緑＋青／白／ランダム／イントロから設定します。 ランダムは、上記の順に赤～緑＋青まで色を変化させ、各色の点灯時間は BACKLIGHT TIME で設定した時間になります。 イントロは、ランダムと同様で各色の点灯時間は 1秒になります。
ID3 TAG	画面に表示されるファイル情報の内容を設定します。	ON	ID3 Tag 情報（アーティスト名、曲のタイトル）を表示します。 ただし、MP3ファイルの場合のみ有効です。
		OFF	標準情報（ファイル番号とファイル形式）を表示します。
SCROLL SPEED	画面のスクロール速度を設定します。	OFF	スクロール表示しません。 固定表示です。
		1～10レベル **(5レベル)**	スクロールの速度を1～10レベルの間で1レベル刻みで設定します。 レベルが高いほどスクロール速度が速くなります。

設定項目の詳細（つづき）

サブメニュー	機　　能	設定項目	設定内容
BACKLIGHT TIME	ボタンを押したときのバックライト点灯時間を設定します。	OFF	ボタンを押してもバックライトは点灯しません。
		1～9sec **(3sec)**	バックライトの点灯時間を1～9秒の間で1秒刻みで設定します。
		Always ON	ボタン操作に関係なく常に点灯します。
LCD CONTRAST	画面のコントラスト（淡／濃）を設定します。	1～10レベル **(5レベル)**	コントラストを1～10レベルの間で1レベル刻みで設定します。 レベルが高いほど濃くなります。

SRS機能の設定（SRSメニュー）

SRS機能（3Dサウンド再生機能）を設定します。

SRSメニューで設定できるサブメニューの機能は、以下のとおりです。

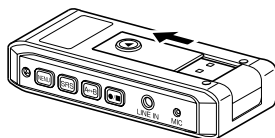
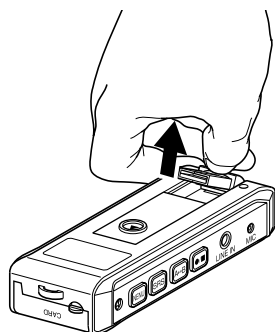
サブメニュー	機　　能
NORMAL	SRS機能は設定しません。
WOW EFFECT	SRS機能（3Dサウンド再生機能）をWOWに設定します。 WOWとは、SRSとTruBassを兼ね合わせた音響効果です。
SRS EFFECT	SRS機能（3Dサウンド再生機能）をSRSに設定します。 SRSとは、自然な立体感を得るための音響効果です。
TruBass EFFECT	SRS機能（3Dサウンド再生機能）をTruBassに設定します。 TruBassとは、豊かな低音を得るための音響効果です。

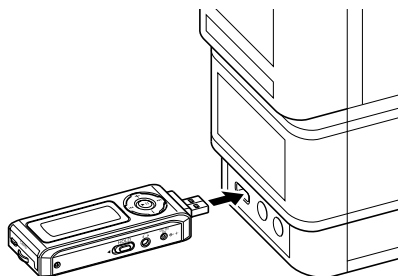
※ SRS機能の設定は設定メニューからでなくても、ファイルの再生中にSRSボタンを押すことにより同様の設定をすることができます。

本機をパソコンに接続する

本機には、USB 端子が内蔵されています。
本機をパソコンに接続すると、本機を USB デバイスとして使用することができます。

パソコンへの接続方法は、以下のとおりです。

1 本機裏面のUSB端子格納フタをスライドさせます。

2 図のようにUSB端子の根元に親指をかけ、USB端子を回転させて取り出します。

3 パソコンのUSBコネクターに本機のUSB端子を接続します。

パソコンに本機を接続すると、パソコンが本機を認識します。

※ 本機にメモリカードを装着した状態でパソコンに接続した場合は、内蔵メモリとメモリカードが別々のドライブとして認識されます。

※ パソコンの前面にUSBコネクターがなく背面にある場合などは、付属のUSB延長ケーブルを使用してください。

本機をパソコンに接続する（つづき）

※ パソコンから本機を取り外す場合は、パソコンの画面下に表示されているタスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」インジケータをクリックしてUSBデバイスの取り外し処理を行ってから取りはずしてください。

※ Windows　Me・2000・XPでは、Windowsの標準USBドライバで本機をディスクドライブとして認識させることができます。ただし、Windows 98では別途USBドライバが必要となります。

Windows 98のUSBドライバは、
当社ホームページ **http://www.sun-denshi.co.jp** のVoiceLabダウンロードページ内BossMaster Windows 98用USBドライバからダウンロードすることができます。

ダウンロードできない場合は、当社サービスセンターにお申し込みいただければ無償にてお送り致します。

パソコンで操作する

本機はパソコン上でUSBディスクとして使用することができます。（マスストレージ）
通常のパソコン操作と同様に本機のファイルやフォルダを取り扱うことができます。

本機をパソコンに接続すると

本機の画面には右の画面が表示され、接続中であることを示します。

パソコンから本機にファイルをダウンロードすると

パソコンから本機へファイルをダウンロードする場合は、通常のファイルコピーの操作と同様にパソコンのファイルやフォルダを本機へドラッグ&ドロップしてください。

本機の画面には右の画面が表示され、ダウンロード中であることを示します。

本機からパソコンにファイルをアップロードすると

本機からパソコンへファイルをアップロードする場合は、通常のファイルコピーの操作と同様に本機のファイルやフォルダをパソコンへドラッグ&ドロップしてください。

本機の画面には右の画面が表示され、アップロード中であることを示します。

※ ダウンロード／アップロード中は、絶対に本機をパソコンから外さないでください。本機のメモリに録音されている内容が破損する恐れがあります。

※ 本機をパソコンに接続すると、USB の電源を利用して本機は充電状態になります。

メモリカードについて

使用できるメモリカード

本機で使用できるメモリカードはSDメモリカードとMMCカードで、他のメモリカード（コンパクトフラッシュ、メモリスティック、スマートメディアなど）は使用できません。

本機では、最大512MBまでのメモリカードを使用することできます。

メモリカードの種類には、32MB／64MB／128MB／256MB／512MBなどがあります。用途に合せてお選びいただき、家電量販店などでお買い求めください。

※ メモリカードの取り扱いは、ご使用になるメモリカードの取扱説明書を参照してください。

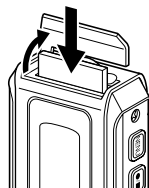
※ メモリカードの取り外しは、メモリカードへの再生／録音中には行なわないでください。

録音時間について

内蔵マイクの標準音質（16Kbps/16KHz）で録音すると、内蔵メモリ（64MB）で約8.5時間、512MBのメモリカードを使用すると約70時間の録音が可能です。また、LINE入力の初期設定ビットレート（128Kbps）で録音すると、内蔵メモリ（64MB）で約1時間、512MBのメモリカードを使用すると約8.5時間の録音が可能です。

メモリカードを装着する

1 本体左側面のメモリカード挿入口のふたを開けます。

2 メモリカードの挿入口にメモリカードを挿入します。

※ メモリカードのラベル面が本機の画面側になるように挿入してください。

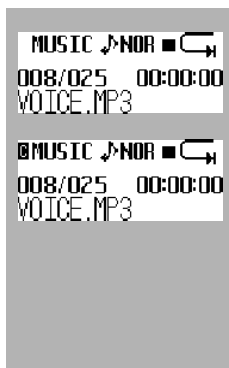
※ カチッと音がするまで挿入してください。

※ 入りにくい場合は無理に挿入せず、メモリカードの向きを確認してください。

3 メモリカード挿入口のふたを締めます。

4 内蔵メモリ／メモリカードを選択する場合は、停止時にA-Bボタンを押します。

画面のプレイメニューの左側に何も表示されていない場合は、内蔵メモリが選択されています。「C」と反転表示されている場合は、メモリカードが選択されています。

右に示した画面は上が内蔵メモリ選択時、下がメモリカード選択時です。

MUSIC ♪NOR
008/025 00:00:00
VOICE.MP3

CMUSIC ♪NOR
008/025 00:00:00
VOICE.MP3

メモリカードについて（つづき）

メモリカードを取り外す

1 メモリカードを指で押しこむと、カチッと音がしてメモリカードが半分ほど出てきます。この状態でメモリカードを引き抜いてください。

※ メモリカードが挿入されている状態で無理に引き抜かないでください。必ず指で押しこんでから引き抜いてください。

2 メモリカード挿入口のふたを閉めます。

※ 本機の動作中にメモリカードの装着／取り外しをしないでください。録音中や再生中に装着／取り外しをすると、メモリカード内のファイルが破損する恐れがあります。

※ 他の機器で使用していたメモリカードは、フォーマット方式の違いにより使用できないことがあります。

便利な使い方

不要なファイルを消してメモリ節約

本機は 64MB の内蔵メモリを標準搭載しており、MP3 のビットレート 128Kbps の場合、約 1 時間録音できます。
メモリを節約するには、古いファイルや不要なファイルをこまめに消去することが必要です。それでもメモリの空き容量が少なくなった場合はファイルをパソコンにコピーしてから消去する、メモリカードを購入するなどで対処してください。

メモリカードの便利な使い方

《用途に合わせて使い分ける》

学習教材の録音用、音楽用など用途に合わせて使い分けたり、音楽のジャンルごとに使い分けたりすると便利にお使いいただけます。

お手入れの方法

普段のお手入れはやわらかい布で汚れを軽くふき取る程度で十分です。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を布に含ませ、良くしぼってふき取り、洗剤が残らないように新しい布でもう一度仕上げてください。
ベンジンやシンナーなどは、変質、変色の原因になりますので使用しないでください。

故障かなと思ったら

録音したのに再生ができない

何らかの原因で録音メモリへ正常に録音されないときは、メモリのフォーマット（初期化）を行ってください。
（『すべてを消去する（フォーマット）』P.44 参照）

WMA ファイルが再生できない

本機は Windows Media Player で圧縮したファイル（WMA 形式のファイル）に対応していますが、Media Player のバージョンが古いと再生できません。MediaPlayer を現行バージョン（バージョン 9）にアップデートしてからお使いください。

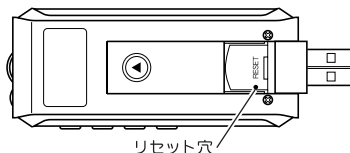
本機の動作が不安定

操作したとおりに動作しない、予期しない動作をするなど動作が不安定なときは、内蔵メモリやメモリカードをフォーマット（初期化）してください。
（『すべてを消去する（フォーマット）』P.44 参照）

※フォーマットすると、メモリ内のファイルとフォルダがすべて消去されてしまいます。
フォーマットは、他に対処方法がない場合の最終手段としください。
なお、フォーマットしたメモリカードは他の機器で使用できなくなることがあります。

操作できない、画面が異常

何らかの原因で操作できなくなったり、画面表示に異常があった場合は、リセットして強制リスタートさせてください。
リセットすると再起動します。

リセットするには、右図の本機裏面にあるUSB端子格納部からUSB端子を取り出し、USB 端子格納部の底にある小さなリセット穴に先の細いものを差し込んでください。
USB端子の取り出しかたは、『パソコンに接続する』（P.53）を参照してください。

Q&A 集

Question	Answer
一度の充電でどれくらい使用できますか？	再生時は約 11 時間、録音時は約 9 時間連続して使用することができます。
メモリの容量は？	64M バイトのメモリを内蔵しています。
何時間録音できますか？	内蔵メモリ（64M バイト）に LINE 入力（ビットレート 128kbps）で録音した場合、約 1 時間です。
IC 録音とはどういう意味ですか？	IC のメモリに直接音声データを記録して録音します。 テープに録音する場合とは異なり、音質が劣化しない、巻戻しに時間がかからないなどのメリットがあります。
パソコンの対応 OS は何ですか？	Windows 98/98SE/me/2000/XP ただし、Windows 98/98SE はホームページから USB ドライバのダウンロードが必要です。
MAC で使えますか？	MAC OS には対応しておりません。
何メガのメモリカードに対応していますか？	512M バイトまでのメモリカードに対応しています。
ラジカセからビーマスターへ録音できますか？	できます。 付属のオーディオケーブルをラジカセのヘッドホン端子（ミニプラグ 3.5φ）とビーマスターのLINE IN端子に接続して録音してください。
ビーマスターからラジカセへ録音できますか？	できます。 付属のオーディオケーブルをビーマスターのイヤホン端子とラジカセのマイク端子（ミニプラグ 3.5φ）に接続して録音してください。
保証期間は何年ですか？	お買い上げ後、1 年間です。
再生速度は変えられますか？	再生中にA-Bボタンを押すことにより、0.75 倍速／ 1.15 倍速／ 1.3 倍速に変えることができます。
電源を切る前に聴いていたファイルの続きを聴くことはできますか？	できます。 設定メニューの「SYSTEM MENU」内「RESUME」機能の設定を ONにすると、電源を切る前に再生していたファイルの停止位置を記憶し、次回電源を入れたときに、その位置から自動的に再生を開始させることができます。

Q&A 集（つづき）

Question	Answer
バッテリが寿命になったら？	サービスセンターでお取り替えいたします。（有料）
充電しながら使用できますか？	できます。
ファイルをフォルダで分類することができますか？	できます。 フォルダは 10 階層まで使えます。
MP3 で対応できるビットレートは？	16～320kbpsのビットレートで再生することができます。 VBR（可変ビットレート ）にも対応しています。
録音方式を教えてください。	MP3 です。
本体にマイクは付いていますか？	はい。 小型マイクが内蔵されています。
内蔵メモリからメモリカードへと連続して録音することはできますか？	メモリカードを使用する場合はメモリの切り換え操作が必要になりますので、連続して録音することはできません。
Masterシリーズのトークマスターで録音した RVF ファイルは再生できますか？	できます。 対応しているファイルは MP3、WMA、RVF です。
乾電池は使用できますか？	できません。 内蔵のリチウムイオン電池専用です。
ステレオ録音できますか？	内蔵マイクはモノラル録音となりますが、ライン録音はステレオ録音が可能です。
使用できるメモリカードの種類を教えてください。	SD メモリカードと MMC カードがご使用いただけます。
SRS 搭載って何ですか？	米 SRS 社が開発した音響技術で、臨場感あふれるサウンドが楽しめます。
ブックマークって何ですか？	よく聴くファイルにブックマーク（しおり）を付けることにより、マークを付けたファイルのみを再生することができます。
ファームウェアって何ですか？	ビーマスターを制御するために搭載されたソフトウェアのことです。

仕様

本体総合	
外形寸法	35×85×18mm（縦×横×厚）
重量	約48g（本体のみ）
電源	ACアダプタ
内蔵メモリ	64MB
動作時間	フル充電時：再生時で連続約11時間 録音時で連続約9時間 保管状態、使用温度、条件等で変化しますので保証する時間ではありません。特に低温時やメモリカードで動作する場合は動作時間が短くなります。
イヤホン端子	3.5mmプラグ、ステレオ
LINE IN端子	3.5mmプラグ、ステレオ
USB端子	miniBタイプ
電源入力端子	ACアダプタ用
録音部	
録音方式	MP3
録音ビットレート	内蔵マイク録音時 標　準（LP）：16Kbps（16KHz） 高音質（HQ）：32Kbps（16KHz） レッスン機能での内蔵マイク録音時 高音質（HQ）：32Kbps（16KHz） LINE入力録音時 48, 64, 96Kbps（22.05KHz） 128, 192, 256Kbps（44.1KHz）
録音時間（内蔵メモリ）	ビットレート 16Kbpsで約8.5時間 ビットレート 128Kbpsで約1時間
メモリカードスロット	最大512MBまで使用可能
保存ファイル数	最大999 （内蔵メモリ、メモリカードごとに999）

仕様（つづき）

再生部	
再生ファイル	MP3、WMA 、RVFファイル
リピート再生	A-B 間、1ファイル、全ファイル、全ファイルランダム
MP3再生ビットレート	BOOK-MARK、FOLDER、MUSIC、LINEプレイの場合 16～320kbps（サンプリング周波数はフルサポート） VOICEプレイの場合 16kbps（16kHz）／32kbps（16kHz）
WMA再生ビットレート	64～192kbps（44.1kHz）
PC インターフェース	
PCインターフェース	USB 1.1（miniBコネクター）
対応OS	Windows 98、98SE、2000、Me、XP
その他	
使用条件	温度　0℃～40℃
ACアダプタ	入力：AC100V　50/60HZ　8VA 出力：DC5V　500mA
標準付属品	ステレオイヤホン、USB延長ケーブル、オーディオケーブル、ネックストラップ、ACアダプタ、取扱説明書

※ 外観、仕様は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きによる正常なご使用状態において万一故障した場合は無料で修理いたします。
2. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
   (1) 保証書をご提示されないとき。
   (2) 保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの、および販売店名の表示がないとき。
   (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災、公害や異常電圧による故障および損傷。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等お取り扱いが不適当なために生じた故障および損傷。
   (5) 取扱説明書に記載の使用方法、注意に反するお取り扱いによって発生した故障、または損傷。
   (6) 改造または、ご使用者の責任に帰すと認められる故障、または損傷。
   (7) 接続している他の機器、その他外部要因に起因して本製品に故障を生じた場合。
   (8) 消耗品の交換。
   (9) 出張修理の場合（出張経費および技術料）。
3. 修理を依頼される場合は、当社へ保証書を添えてお送りください。
4. 本製品が、ご贈答品等で修理を依頼される場合は下記のユーザーサポートセンターにご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

※ 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。

したがって本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

保証書

[保証期間] 1年間

[品名・型名] ビーマスター　RIR-300

本書は、保証規定に記載された条件に基づいて、1年間の無償修理をお約束するものです。
修理をご依頼される場合、本書の提示が必要となりますので、大切に保管してください。

尚、本書の再発行は致しませんのでご了承お願い致します。
(修理は現品をお送りいただいて、お預かりの上行います)

上記期間内に初期不良等の故障が発生した場合は、下記まで修理をお申し付けください。

〒483-8555
愛知県江南市古知野町朝日 250

サン電子株式会社ボイスラボ

ユーザーサポートセンター
TEL 0587-55-9800(または 0587-55-2154)
FAX 0587-53-7616

受付時間 10:00 ～ 16:00
(12:00 ～ 13:00・土日祝日・当社指定休業日を除く)

販売店印(店名・販売日)

◇ 当社より直接購入された場合は、納品書に販売証明書が添付されますので本保証書と共に大切に保管し、修理の際は、両方ご提示ください。

◇ 本製品の使用中に故障が発生した場合には、販売店またはサン電子株式会社にお問合せください。

交換、修理(有・無償)、払戻しおよび部品保有期間、またその他の補償規定は消費者保護法の補償基準に準じます。

ご案内

◇ 本製品に関する質問など、詳細な事項はサン電子株式会社にお問合せください。

お問合せのときは、次のことをお知らせください。

・商品名 / 型名

・お買い上げ年月日

・お問合せ内容：できるだけ詳しく

お問い合わせ先

◇パソコン関係以外のお取り扱い方法に関するお問い合わせ
0120-501355（9:00-21:00、年末年始を除く土日祝も受付）

◇修理、パソコン関係を含むお取り扱い方法に関するお問い合わせ
TEL（0587)-55-9800（10:00-16:00、土日祝、12:00-13:00を除く）

◇ホームページからのお問合せ
http://www.sun-denshi.co.jp/からVoiceLabのページへ

サン電子株式会社

ボイスラボ
〒483-8555　愛知県江南市古知野町朝日250
電話番号　0587-55-2154

2004. 4月